

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	金石文・出土文字資料研究		
担当教員	仁藤敦史		
授業概要	木簡・石碑・刀剣銘など対象に、形状や内容を検討する。 加えて、古代庄園図・印章・銭貨など非文献資料を含めて、歴史資料としての特質を総合的に検討し、その活用法を追求する。講義・演習形式で進める。		
教育目標・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の金石文・出土文字資料について、その形状や内容を明らかにできる。 ・文献史料との比較検討ができる。 ・歴史資料としての特質を明らかにし、その活用法を追求できる 		
成績評価	講義での発言や発表活動(50%)とレポート(50%)		
授業計画	1. ガイダンス 金石文	9. 刀剣銘2 稻荷山鉄剣	
	2. 木簡1 様式論・文書木簡	10. 刀剣銘3 王賜銘鉄剣	
	3. 木簡2 都城出土木簡・考選木簡	11. 庄園絵図 額田寺伽藍並条里図	
	4. 木簡3 地方出土木簡 荷札・郡符	12. 印章1 金印	
	5. 石碑1 広開土王碑 前置文	13. 印章2 官印影・出土印	
	6. 石碑2 宇治橋断碑 復元	14. 銭貨 古代官銭	
	7. 石碑3 上野三碑 東国の石文	15. 全体のまとめ	
	8. 刀剣銘1 七支刀		
実施場所	大学院生研究室	使用言語	日本語
前期・後期の別	前期	対象年次	3, 4, 5
		単位数	2単位
教科書・参考図書	「文字と古代日本」全六巻、吉川弘文館		
備考	履修以前に出土文字史料や金石文の概説を読んでいることが望ましい。		